令和７年度「美祢市病院経営強化プラン」点検・評価報告書

１　令和７年度美祢市病院事業報告

(1)　患者数

ア　市立２病院全体

市立２病院全体の延入院患者数は６万 6,670 人で、前年度に比し 2,663 人の増となった。

また、延外来患者数は 5 万 5,979 人で、前年度に比し 4,175 人の減となった。

イ　美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は３万 7,334 人で前年度に比し 3,620 人の増、１日平均入院患者数は 102.3 人で前年度に比し 9.9 人の増となり、病床利用率は、88.9％となった。延外来患者数は、３万 2,574 人で前年度に比し 3,095 人の減、１日平均外来患者数は 131 人で前年度に比し 12.5 人の減となった。

なお、患者１人当たりの収益は、入院３万 2,261 円、外来１万 4,813 円となった。

ウ　美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は２万 9,336 人で前年度に比し 957 人の減、１日平均入院患者数は 80.4 人で前年度に比し 2.6 人の減となり、病床利用率は 80.4％となった。延外来患者数は、２万 3,405 人で前年度に比し 1,080 人の減、１日平均外来患者数は 96.7 人で前年度に比し 4.1 人の減となった。

なお、患者１人当たりの収益は、入院２万 7,835 円、外来 8,294 円となった。

(2)　収益的収支

ア　市立２病院全体

令和７年度の市立２病院事業の収益的収支は、総収入 38 億 9,081 万 9,476 円、総支出 40 億 6,637 万 8,380 円を計上し、差し引き１億 7,555 万 8,904 円の純損失となった。

その結果、この純損失に前年度未処理欠損金の 10 億 8,766 万 1,545 円を加え、12 億 6,322 万 449 円の当年度未処理欠損金となった。

イ　美祢市立病院

美祢市立病院は、総収入 23 億 5,323 万 6,751 円、総支出 24 億 7,426 万 723 円で、差し引き 1 億 2,102 万 3,972 円の純損失となった。

ウ　美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、総収入 15 億 3,758 万 2,725 円、総支出 15 億 9,211 万 7,657 円で、差し引き 5,453 万 4,932 円の純損失となった。

2　令和７年度における各種経営指標の数値目標と達成度

○美祢市立病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	Ｒ７目標	Ｒ７実績	達成状況	特記事項
1　病院機能・収益向上に関する指標〔実績／目標＝100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×〕					
①　入院患者数（1日当たり）					
一般	人	70.0	64.3	△	病棟別の機能を明確化、効率的な運用による改善
療養	人	38.0	38.6	○	病棟別の機能を明確化、効率的な運用による改善
②　外来患者数（1日当たり）	人	159.0	131.0	×	医師の退職に伴う減少
③　救急受入件数（年間）	件	763	574	×	
④　紹介率	%	37.0	41.5	○	
⑤　逆紹介率	%	18.0	21.9	○	
⑥　リハビリ件数（年間）	件	27,803	37,887	○	
2　経費削減に関する指標〔実績／目標＝100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×〕					
①　職員給与費対医業収益比率	%	69.3	77.2	×	給与費の上昇及び医業収益の目標未達のため
②　材料費対医業収益比率	%	15.6	19.4	×	材料費の高騰及び医業収益の目標未達のため
③　委託料対医業収益比率	%	11.0	14.4	×	人材派遣に伴う委託料の増及び医業収益の目標未達のため
3　収支状況に関する指標〔実績／目標＝100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×〕					
①　経常収支比率	%	102.0	95.1	△	医業収益の目標未達のため
②　医業収支比率	%	89.5	78.8	×	医業収益の目標未達のため
③　資金収支（単年度）	百万円	65	△121	×	医業収益の目標未達のため

○美祢市立美東病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	Ｒ７目標	Ｒ７実績	達成状況	特記事項
1　病院機能・収益向上に関する指標〔実績／目標＝100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×〕					
①　入院患者数（1日当たり）					
一般	人	53.0	45.9	×	
療養	人	37.0	34.5	△	
②　外来患者数（1日当たり）	人	110.5	96.7	×	
③　救急急受入件数（年間）	件	770	691	×	
④　紹介率	%	49.6	36.5	×	初診数（発熱等）の減少に伴うかかりつけ患者割合の増加
⑤　逆紹介率	%	34.7	33.0	△	初診数（発熱等）の減少に伴うかかりつけ患者割合の増加
⑥　リハビリ件数（年間）	件	21,035	19,801	△	理学療法士の産休・育休、作業療法士の病休等による減少
2　経費削減に関する指標〔実績／目標＝100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×〕					
①　職員給与費対医業収益比率	%	76.2	94.4	×	給与費の上昇及び医業収益の目標未達のため
②　材料費対医業収益比率	%	10.4	14.1	×	材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため
③　委託料対医業収益比率	%	12.0	9.8	○	委託業務の見直しのため
3　収支状況に関する指標〔実績／目標＝100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×〕					
①　経常収支比率	%	103.7	96.6	△	給与費及び材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため
②　医業収支比率	%	85.4	73.8	×	給与費及び材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため
③　資金収支（単年度）	百万円	43	△55	×	給与費及び材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため

３　評価と経営改善に向けた取組み

(1)　評　価

○　市立２病院とも診療単価の増加により入院収益が増加し、医業収益が増加している。これは美祢市立病院においては、令和６年度に病棟別の機能分化を明確にするとともに、効率的に運用できるよう病床数の適正化を図ったことが大きな要因である。

○　一方、費用面においては、病院事業全体において人事院勧告に準じた人件費の増加や最低賃金の上昇、原材料価格、原油価格の高騰など社会情勢の影響を大きく受け、費用が増加している。

○　この結果、美祢市立病院では 121 百万円、美祢市立美東病院 55 百万円の純損失を計上することとなった。

○　令和７年度に経営改善推進事業債を借入れたが、美祢市病院事業全体で、運転資金が枯渇しており、資金増加（確保）の対策が急務である。

(2)　経営改善に向けた取組み

○　令和７年度からは、令和６年３月に策定した「美祢市病院経営強化プラン」に基づき、経営改善に向けた行動計画を策定し、個別具体的な取り組みを進め、患者・医師の確保に努め、医業収支の改善に努める。

○　具体的には、美祢市病院経営強化プランに掲げる地域密着型多機能病院として、市外の急性期病院及び市内の開業医や高齢者施設との連携を強化し、積極的に紹介患者や救急患者を受け入れることにより、入院患者の増加に繋げ、持続的で安定した経営に引き続き取り組んでいく。

○　美祢市立病院では、訪問診療など在宅医療の強化を行い、医業収益の増加に繋げる。また、美祢市立美東病院ではさらなる病床機能の転換を行い、地域の医療需要に柔軟に対応できる体制を整備する。

○　市立２病院が有する医療資源をより有効かつ効果的な運用を図るため、市立２病院の一体的運用を目指していくにあたり、それぞれの特性に応じた機能の集約を行っていくことにより、収益の安定化を図る。

○　昨今の社会情勢を受け、人件費の高騰が顕著であり収益を圧迫しているため、事務系職員の人員配置の見直しを早急に進める。

○　最低賃金の上昇に伴い、委託方式をとっている業務（清掃・給食・管理営繕など）に関して、経費縮減に向け、それぞれの業務範囲や業務遂行方式の見直しを進める。